



京商では、京都の特性や企業の強みを活かして顧客創造を図る事業プランを「知恵ビジネス」として認定しています。

新発想の古材家具

(株)丸嘉 代表取締役 小畑隆正さん



五代150年以上にわたって木材業を営んできた(株)丸嘉。原木をそのまま製材した天然無垢のフローリング材や古い町家で使われていた古材をアンティークウッドとして提供するだけでなく、古材を独自規格の部材に加工し、それらを組み合わせる家具やシステムキッチンとして再生しています。

―事業内容について―

「良いものを永く使いたい」というニーズに込めて、いわゆる新建材ではなく、天然無垢材のフローリングを中心に取り扱っています。また、平成17年から、古材を買い取ってアンティークウッドや住宅、店舗意匠の部材として販売する事業を始めました。今、古い町家がどんどん取り壊されていますが、年月を重ねた梁や柱などは、新しい木材とは違った独特の風合いを持っています。それらを廃棄するのではなく、もう一度商品として再利用できないかと考えたのがきっかけ

です。設計事務所や住宅会社、エンドユーザーである店舗オーナーや施主など多くのお客様に喜ばれています。

―ウッド・コンシェルジュとは?―

家を建てたいと考えるお客様にとって、木の種類や産地などよりも、木が自分のライフスタイルや趣味、感覚に合っていることが大切です。今から10年前に本社を改装して「無垢フローリングギャラリー」を設け、5年前には築100年の京町家を改修した「古材・床板倶楽部」というショールームをオープンしました。合計5名の女性スタッフがウッド・コンシェルジュとして常駐。「子どもが転んでも痛くない床は?」「ペットと一緒に傷つきにくい板は?」などの相談に、女性ならではのきめ細かな視点で応じています。実際に手で触れてもらいながら、洋服を選ぶような感覚で自分に合った木を見つけていただいています。

―認定プランの特徴は?―

一点ものの古材家具は、この世に一つしかないという価値がありますが、その一方で同じものをいくつかほしいという注文には対応できません。傷んだ柱、小さな端材など、一つひとつ形や大きさ、状態が異なる古材を、私たちが蓄積してきた再加工などの技術で独自

規格の部材にし、それらを自由に組み合わせることで量産にも対応できないかと考えました。京都工芸繊維大学デザイン学部門の野口企由教授と産学連携し、種類の異なる木をパズルのように埋め込んで立体感を表現するなど、機能性だけでなくデザインや風合いにもこだわっています。テーブルやベンチ、システムキッチンなど、当社ならではの家具には、お客様からの問い合わせが舞い込んでいます。産学の強みを掛け合わせて生まれたプランです。

―今後のビジネス展開は?―

かつて街の材木屋さんは、地域の人々が家を建てるときの良き相談相手でした。現在、当社は木材を扱っています。将来的には設計士やデザイナー、工務店などのネットワークを活かして、家全体をプロデュースできればと考えています。古材が持つ価値に対して、世間ではまだまだ「古い」「高い」というイメージが根強いので、京商には、古材の魅力を今回の紙面のように発信していただけたらうれしいですね。



古材を使用したシステムキッチン

(株)丸嘉
京都市伏見区横大路貴船114
☎075-622-1408
<http://www.maruyoshi21.com/>
<http://www.kozai-ichiba.jp/>



京商ニユース

京都商工会議所

〒604-0862 京都市中京区烏丸通奥川上ル
☎075-212-6400 075-255-1985
<http://www.kyo.or.jp/kyoto/>
✉kyoto@kyo.or.jp
第101号(毎月2回発行)



おかげさまで弊社は
来年創業150周年を迎えます。
okanogumi.co.jp

株式会社 岡野組
OKANO

建築・土物の設計 施工管理 立地調査 コンクリート
のり付スチール 鋼骨鉄骨 鋼骨鉄骨 鋼骨鉄骨